

2021 年度数学教育学会夏季研究会(関西エリア)

日時 2021年6月20日(日) 10:00-15:30
場所 オンライン開催(担当校:大阪教育大学)
担当 富永 雅, 竹歳賢一, 西川恭一, 黒田恭史, 鈴木正彦

プログラム

一般発表 座長(竹歳賢一)

10:00

- ① 津田真秀(京都教育大学附属京都小中学校)
藤木卓也(京都教育大学附属京都小中学校)
黒田恭史(京都教育大学)
「データ分析力とそれに基づく判断力を育成する統計教育の在り方
ー小学校第6学年を対象とした表計算ソフトによる気象データ解析ー」

10:30

- ② 河合真美(東大阪市立金岡中学校), 二澤善紀(佛教大学)
「「関数」領域における学習指導の考察」

11:00

- ③ 葛城 元(京都教育大学附属高等学校), 黒田恭史(京都教育大学)
「ハイブリッド型数学授業がもたらす学習効果と学力格差
ー高校生の学力層に着目した分析を通してー」

11:30

- ④ 及川久遠(大和大学)
「工業大学における数学教員養成について」

12:00

- ⑤ 渡辺 信(生涯学習数学研究所)
「絵画を仲介して数学の歴史を観る」

12:30 昼食

シンポジウム「数学史や数学教育史から現代の数学教育の課題を再検討する」

13:30

コーディネーター

- ・富永 雅(大阪教育大学)
「数学史や数学教育史から現代の数学教育の課題を再検討する」

パネリスト

- ・西川恭一(神戸教育短期大学)
「明治前期の算術教育」
- ・中西正治(三重大学教職大学院)
「現場が未だに抱えている算数・数学教育の課題」
- ・松宮哲夫(大阪教育大学元教授・内モンゴ師範大学客座教授)
「日本数学教育の歩みの特徴と歴史の教訓 ・研究姿勢・」

15:30 閉会の辞